

(様式第2号)

平成22年度ながさき私学魅力アップ事業実績報告書

学校法人名 (団体名)	玉木学園
学校名	長崎玉成高等学校
所在地	長崎市愛宕1丁目21番6号
担当者氏名 及び連絡先	新名 桂子 (TEL: 095-826-6321)

1. 事業実績

① 3年間の目標 (数値目標も記載すること)

【1年目】旧カリキュラムによる最後の生徒の合格率、全国平均以上。

地産地消の概念(地域で生産された様々な生産物や資源をその地域で消費する)に基づき、地元介護系サービス事業所への就職希望者の内定率 100%

【2年目】新カリキュラム初の生徒の合格率 80%

地産地消の概念(地域で生産された様々な生産物や資源をその地域で消費する)に基づき、地元介護系サービス事業所への就職希望者の内定率 100%

【3年目】介護福祉士国家試験合格率 8割定着

地産地消の概念(地域で生産された様々な生産物や資源をその地域で消費する)に基づき、地元介護系サービス事業所への就職希望者の内定率 100%

サロンを最低月 1回以上開催

② 3年間の実績 (必ず数値目標の実績を記載すること)

【1年目】介護福祉士国家試験合格率全国平均以上達成。

平成22年度における本校合格率(73.7%)、全国合格率(48.3%)

地元介護系サービス事業所への就職希望者 15名全員合格

(内定率 100%)

③ 当該年度の事業報告 (具体的に記載すること)

◎今年度の目標 (数値を含む)

(1) 旧カリキュラムによる最後の生徒の合格率、全国平均以上

(2) 地産地消の概念に基づき、地元介護系サービス事業所への就職希望者の内定率 100%

◎今年度の事業計画

- (1) 受験指導マニュアル作り・過去の国家試験内容分析作業
高い合格率を誇っている学校及び福祉教育の先進的取組みを行っている学校の視察と情報交換
外部講師を招聘し、受験指導スキルを身に付ける。
- (2) 地域貢献活動の基盤づくり
ふれあい学習を年4回実施
介護老人福祉施設の高齢者とお買物ツアー1回

◎平成22年度取組み内容

- (1) について
平成22年12月 過去の国家試験問題の系統別資料づくり完成 ※冊子参照
平成22年11月10日(水) 大阪市立淀商業高等学校
11月11日(木) 兵庫県立日高高等学校 } 視察
11月12日(金) 岡山県立倉敷中央高等学校 } ※別紙報告書参照
平成23年2月17日(木) 笑う介護士袖山卓也先生講演会
- (2) について
平成22年5月29日(土) ふれあい学習「お好み焼き作りと風船バレーをしよう！」
平成22年7月17日(土) ふれあい学習「おりじなるうちわ作り&夏祭り♪」
平成22年10月9日(土) ふれあい学習「福祉科 FESTIVAL」
平成23年2月19日(土) ふれあい学習「もうすぐひなまつり
～貼り絵でひな飾りを作ろう！～」
平成22年11月5日(金) 介護老人福祉施設牧島荘のご利用者とお買物ツアー
平成23年3月12日(土) 地域おこしモデル地区「鹿児島県鹿屋市串良町柳谷
集落」視察
※別紙報告書参照

◎今年度目標に対する成果

- (1) 今年度3年生第23回介護福祉士国家試験合格率

平成22年度合格率： 受験者19名14名合格（合格率 73.7%）

※ 平成23年3月29日発表

全国平均合格率は、48.3%。（例年50%～54%程度である。）

今年度3年生の進路決定状況

卒業生20名 進学4名 就職内定15名（内定率 93.8%）

※ 1名は卒業延期であったため現在就職活動中

（なお、地元介護サービス事業所への就職希望就職内定率100%合格）

- (2) ふれあい学習4回、介護老人福祉施設牧島荘の入所者・デイサービスご利用者
とのお買物ツアーを実施。

④今後の課題

(1) 校外模擬試験の団体成績では過去に例を見ない低さで、国家試験直前まで点数が伸び悩んだ。

ただし、合格得点前後10点以内には生徒がお多数の生徒がおり、国家試験直前まで全体補習だけでなく個別指導を要する生徒がいた。もっと安全圏内での得点をとることができるような指導が今後の課題である。

地元介護サービス事業所への就職率としては、長崎市内の介護事業所へ15名が決まった。

今年度は、新規サービス事業所の開設が相次ぎ、求人数が安定していた為だと考えられる。

今後もより質の高い、即戦力のある介護職員としての就職を支援していきたいと考える。

(2) 今年度予定どおりの障害児とのふれあい学習を4回実施しのべ37名の子どもとその保護者に参加していただいた。また、介護老人福祉施設牧島荘のご利用者36名とのお買物ツアーも無事に行うことが出来、今回は買物以外にも散歩や歴史博物館の見学なども取り入れ、高齢者からも好評を得られた。

今後も、これらの定期的な活動を継続し、平成24年度の「高齢者サロン」(仮称)の立ち上げにつなげていきたい。

2. 事業実績の評価

①事業実績に対する学校評価(自己評価)

- ・平成22年度における介護福祉士国家試験合格率は全国平均以上の結果を出すことができ、目標を達成することができた。しかし、不合格者2名は合格ラインまであと1点不足してこともあり、一人でも多くの合格者を出すためには、今後更なる指導の充実を図ることが課題である。

評価4：十分達成している

- ・地元介護サービス事業所への就職希望者は、15名全員合格(内定率100%)することができた。担任・福祉科・進路指導部という系統的な日常生活指導・補習及び面接指導等を今後も継続していくことが最終的な合格へと繋がると考えている。

評価4：十分達成している

②学校関係者評価委員会の構成

同窓会会長	大石 順子
公立中学校元校長	横山 碩男
育成会会長	福田 安秀

育成会副会長 前田 政茂
育成会副会長 前田 久仁子

③学校関係者評価委員会の評価

『事業実績に対する評価』

事業計画（１）について

- ・ 国家試験問題の系統別資料は冊子としてよくまとまっている。
- ・ 先進校の視察と情報交換で得たものを今後どのように本校の教育に反映させていくか期待したい。また、視察を３日間連続にしたのは効率的な運用と評価できる反面、負担も大きいのではないかとと思われる。
- ・ 福祉教育では著名な外部講師による講演会についての生徒の反応が知りたい。

事業計画（２）について

- ・ ふれあい学習は年４回実施は回数としては適切と思われる。反面、福祉担当の教員の負担が大きいため、学校全体の取り組みとして他の職員の協力も得るようにしたらどうか。
- ・ お買い物ツアーは本校福祉科の恒例行事として、定着しており、今後も続けて欲しい。
- ・ 「鹿児島県柳谷集落」視察には、福祉科以外の教員も２名参加しており、学校全体で「地域おこし」取り組む端緒にして欲しい。
- ・ 車椅子製作所視察は生徒にとっては、福祉の原点を考え直す良い機会になったのではないかと。これを機会に、生徒自身で車椅子を製作するなど発展させて欲しい。

『義業実績への学校評価（自己評価）に対する評価』

- ・ 介護福祉士国家試験合格率が全国平均以上の合格及び就職希望者の地元での就職率１００％達成は評価できる。

④学校法人理事会報告日 平成２３年 ３月２５日

⑤学校法人評議員会報告日 平成２３年 ３月２４日